

京都府図書館等連絡協議会実務研修会（南部会場）概要

テーマ： 障がい者サービス

演 題：「障がい者サービス～図書再生機の操作方法及び障がい者への接遇について～」

講 師：京都ライトハウス情報ステーション・情報制作センター 所長 高木 美智子 氏
京都ライトハウス情報ステーション 副主任 饗場 野枝 氏

会 場：京都府立図書館

日 時：令和5年12月13日(水)午後1時30分～4時

参加者数：22名

概 要：昨今、読書バリアフリー法や著作権法等、図書館の障がい者サービスを取り巻く環境は随分整備されてきています。しかし、実際には財政難等の影響で満足いくサービスが行えていなかったり、サービスを行っても利用がないという館も多いのではないのでしょうか。

また、全国各地で「読書バリアフリー」をテーマとした研修会が開催されていますが、法律や制度の説明に留まらず、実践事例に基づいた知識やスキルを身につける機会は、まだあまり多くありません。

今回は視覚障がい者へのサービスに焦点を当て、図書館職員としての適切な接遇やデージー等の図書再生機の操作方法について、専門的な見地からの知識に触れる機会として、今回の研修が企画されました。

講義では、京都ライトハウス情報ステーションでの取組や視覚障がい者の特性、視覚障がい者への接遇において心掛けることや注意すること等、経験に基づく内容で、参加者には得るものが多い内容となりました。また、参加者二人一組になり、誘導される側と誘導する側を交互に体験し、講義の内容をより深く理解する機会となりました。

後半はデージーやセンスプレーヤーの機器の操作方法の説明と実演、ニボラチャンネルやNHK視覚障害ナビ・ラジオなど視覚障がい者に役立つサイト等の紹介がありました。

今回は視覚障がい者へのサービスについて研修を行いました。様々な障害に対しても視野を広げて、図書館サービスの充実を図るとともに、利用者一人ひとりの個性への理解を進められるような努力をしていかないと強くなる研修会となりました。

